

令和4年度

第3回岐阜県スマート農業推進協議会

議事要旨

開催日：令和5年3月23日

開催場所：県シンクタンク庁舎5階 大会議室

令和4年度 第3回岐阜県スマート農業推進協議会 議事要旨

1 開催日時：令和5年3月23日（木） 15：30～17：00

2 開催場所：県シンクタンク庁舎5階 大会議室

3 出席者：別添「出席者名簿」のとおり

4 内容

(1) 開会

後藤農政課スマート農業推進室長

(2) 検討事項

ア スマート農業推進計画の進捗及び推進施策の実施状況

<上野農政課スマート農業推進係長から資料1・2により説明>

【主な意見等】

小林委員) スマート農業に取り組む産地数という産地とは何か。単純に機器を導入しただけになっていないか。

⇒上野係長) スマート農業機器から得られるデータの活用や機器の共同利用体制の構築など単に機器を導入するだけではなく、産地としてどう活用していくかまで検討し、その実行をしている産地を位置付けている。

堀口委員) 貸出機器は順調に借りられているのか。一部、借りられていない機器があるようだが、県としての自己評価をしてほしい。

⇒上野係長) 貸出事業としてこれだけの機器を揃えているのは本県のみであり、生産者からも好評であるため一部、貸出実績がないものは引き続き紹介していきたい。

堀口委員) 生産者から貸出機器の充実などの要望はあるか。

⇒上野係長) 来年度導入予定の機器は飛騨地域などからの要望を反映している。

林委員) 基盤整備の有無がスマート農業機器の導入に影響していないか。

⇒上野係長) 下呂で実施した実証ではリモコン式草刈機が活用できるのり面が限られるなどの課題があり、今後の基盤整備の中でスマート農業機器の活用を想定した整備がされると聞いている。

嶋津委員) CO₂局所施用について効果検証などされているか。

⇒上野係長) 次年度以降検証を進めたい。

嶋津委員) ドライミストを次年度導入するとあるが効果がわからないと生産者に伝わらないため検証方法をしっかりしてほしい。

モデル温室に導入済みの機器で効果が出ているものはあるか。

⇒上野係長) 技術展示に加え一部分析委託を行い研修に活用している。

松下委員) スマートグラスはどのように活用されているのか。

⇒上野係長) 現在はこういった場面で活用できるかを検証している。

座光寺委員) 導入したドローンは貸出か。

⇒上野係長) 職員がライセンスを取得して実演用として活用している。

イ 令和5年度スマート農業推進施策について

<上野農政課スマート農業推進係長から資料3・4により説明>

【主な意見等】

堀口委員) 各課の施策のうち鳥獣被害防止対策に関する補助金は新規か。

⇒小椋係長) 既存事業である。今年度は市町村から要望がなかったため実績はない。

小林委員) 夏秋トマトでドライミストの活用が期待されるが、どこの産地品目を対象にしているか。

⇒上野係長) 冬春トマトを想定している。

嶋津委員) バラとイチゴでもデータ駆動型農業を実施するが海津のような取組みを想定しているのか。

⇒田中技術主査) 本県のバラとイチゴについてはデータ活用をスタートさせる取組で、1年目は見える化と課題抽出を、2年目以降から本格的にデータを活用した栽培改善を検討していく。

(3) 閉会

後藤農政課スマート農業推進室長

以上